

モモやサクラなどの外来害虫 クビアカツヤカミキリを 撲滅しましょう！

クビアカツヤカミキリは、幼虫がモモやサクラなどの樹木の内部を食い荒らす外来生物で、被害が進むと、木が弱り枯れてしまいます。

徳島県内では、平成27年に板野町のモモ園で初めて被害が確認され、現在では、鳴門市から上板町にかけての県東北部で被害が拡大しています。

あなたの家の、また地域の大切なモモやサクラを守るため、地域ぐるみでクビアカツヤカミキリの駆除に取り組み、撲滅しましょう！

クビアカツヤカミキリって？ どんな被害が出るの？

- 体長2.5～4cm程度の穿孔性の害虫です。
- 全体に**光沢がある黒色**で、**胸部が赤く突起状**になっています。
- **モモ、サクラ**のほか、ウメ、スモモ、アンズなどの樹木の内部に幼虫が穿孔し、木を弱らせたり、ひどい場合には枯らせることもあります。
- 幼虫が侵入・食害すると、**木の根元近くから**、幼虫の糞と木くずが混ざってウドン状に固まった**フラスを大量に排出**します。



クビアカツヤカミキリ成虫（原寸大）



モモの木から排出されたフラス

どうやって駆除すればいいの？

木の周囲を見て回り、

1 成虫を見つけたら…

すぐに**捕まえ、踏みつける**などして駆除しましょう！

- ・成虫は**6月下旬から8月**にかけて、主に**昼間**に活動します。

2 フラスを見つけたら…

フラスは、木の中に幼虫がいる証拠です。

排出口に詰まっているフラスを千枚通しなどで掻き出した上で、口からの**針金の差し込み**や**薬剤の注入**※により、幼虫を駆除しましょう！

- ・フラスは、幼虫が木を食害する**春から秋にかけて排出**されます。
- ・フラスの排出がなくなるまで処理することが大切です。



食害されたモモの木と幼虫

※ フェンプロパトリン・エアゾール剤（商品名：ロビンフード）のノズルをフラスの排出口に差し込み、噴射して使用。

木が枯れたり衰弱したときは…

- ・ 強風などによって、枝が落ちたり倒れたりしないよう、**早期に伐採**する必要があります。
- ・ 伐採した後は、
 - ・ **伐採した木を埋設・破碎**などで、内部の幼虫を駆除
 - ・ **切り株をシート等で覆い**、幼虫の羽化を防止し、他への被害まん延を防ぐことが重要です。

※ 農薬を用いて駆除する場合は、定められた使用基準を守りましょう！

※ クビアカツヤカミキリは、農業等に被害を及ぼす「特定外来生物」に指定され、飼育や移動が禁止されています。

【お問合せ先】

徳島県立農林水産総合技術支援センター・病害虫防除所
(Tel : 088-674-1954)